

ライオンズクラブ国際協会330-B地区からの坂本九歌碑の寄贈について

ライオンズクラブ国際協会330-B地区（ガバナー 安達成功氏）が、川崎市出身の世界的歌手坂本九を顕彰し、地域の活性化と音楽によるまちづくりに貢献するために作成した、坂本九の歌碑の寄贈を受けますので、次のとおり感謝状を贈呈いたします。

1 寄贈を受ける坂本九歌碑（左：写真、右：設置位置）



（構造：石碑）

高さ約 1.9m 幅 1.35m）



2 感謝状贈呈式概要

（ライオンズクラブ国際協会が行う「坂本九記念歌碑除幕式」内で実施）

（1）日 時 平成27年4月11日（土）11：00～11：35

（2）場 所 JR川崎駅東口駅前広場内（荒天中止）

（3）主な出席者

ライオンズクラブ国際協会330-B地区ガバナー 安達 成功

川崎市市長 福田 紀彦

柏木 由紀子様（坂本九奥様）

（4）内 容 目録授与 感謝状贈呈 歌碑除幕など



(撮影: 高森 和明)

坂本 九 / Kyu Sakamoto

(1941.12.10 ~ 1985.8.12)

昭和16(1941)年12月10日九人兄弟の末っ子として川崎市で誕生。
エルヴィス・プレスリーに憧れて歌手を志し、昭和36(1961)年に
歌った「上を向いて歩こう」(作詞:永六輔、作・編曲:中村八大)
が大ヒット。後に「SUKIYAKI」と題し世界中で発売され、
昭和38(1963)年には米音楽紙ビルボードのシングルチャートで
3週連続1位を獲得。アメリカのみならず世界中で大ヒットを記録し、

ゴールデンレコードを授与される。これは日本語の歌が初めて世界的ミリオンセラーとなった快挙である。

「丸ちゃん」の愛称で歌手、俳優、司会者と日本を代表するエンターテイナーとして活躍する中、
「あゆみの箱」、札幌テレビの福祉番組「サンデー九」、手話から生まれた歌「そして想い出」を
発表するなど、福祉活動にも積極的に尽力した。

子どもからお年寄りまでに親しまれた、昭和を代表する国民的な大スターである。

代表曲:「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」「明日があるさ」「幸せなら手をたたこう」
「レットキス(ジェンカ)」「涙くんさよなら」「ともだち」「心の瞳」

上を向いて歩こう

作詞:永六輔

作曲:中村八大

上を向いて歩こう
涙がこぼれないように
思い出す春の日
一人ぼっちの夜

上を向いて歩こう
涙がこぼれないように
泣きながら歩く
一人ぼっちの夜

上を向いて歩こう
にじんだ星をかそえて
思い出す夏の日
一人ぼっちの夜

思い出す秋の日
一人ぼっちの夜
悲しきは星のかけに
悲しきは月のかげに

幸せは雲の上に
幸せは空の上に

上を向いて歩こう
涙がこぼれないように
泣きながら歩く
一人ぼっちの夜
一人ぼっちの夜